国立大学法人愛媛大学（所在地：愛媛県松山市文京町３番）

事業名　重度障害者の起業塾　～雇用される働き方から、雇用する立場・「働かない働き方」へのパラダイムシフト～

事業の趣旨・目的

・特別支援学校等では「雇用される働き方」前提のキャリア教育に偏り、起業・経営参画を学ぶ機会がない「学びの非対称」を解消する。

・「看板娘・看板息子」「事業所役員」等の実例を基に、存在・意思決定・所有を通じて事業に参画する「働かない働き方」を含む新しいキャリアモデルを移行期の学びとして構築する。

事業実施体制・連携先

代表機関：国立大学法人愛媛大学（教育学部附属インクルーシブ教育センター）／所在地：愛媛県松山市

連携先：愛媛県障がい福祉課／愛媛県学び推進課／特別支援学校（佐賀県立中原特別支援学校）／企業経営者／株式会社伊予銀行／税理士／障害当事者（北古賀雄三氏）等

主な対象　肢体/重度重複/その他（ 医療的ケア児者 ）

活動分野　学習/普及啓発

事業内容

・重度肢体不自由・医療的ケア・重症心身障害者等（18～30歳程度）8～10名を対象に、対面・オンライン・訪問のハイブリッドで全10回の起業塾を開講（知る→考える→やってみる→発表）。

・愛媛大学生が共同受講・サポーターとして参画し、模擬取締役会・ビジネスプラン作成を協働。地域の金融機関・士業・企業経営者が講師・相談員として参画。

・伊予銀行「いよぎん金融教育教室」の内容を重度障害者向けに翻案し、障害年金・役員報酬・創業資金まで発展させたアクセシブルな金融教育教材を開発。

・教育×福祉×経済×行政×当事者の五者による連携協議会を開催し、成果を検証。

・モデルカリキュラム・教材を公開し、成果発表会「未来の社長プレゼン」・成果報告会で全国に普及。

事業終了後の目指す方向性

大学公開講座としての自走化、伴走支援ネットワークによる修了者の役員就任・起業準備支援、モデルの全国展開。

その他

・令和元～７年度 本事業受託「訪問カレッジ・オープンカレッジ@愛媛大学」（令和７年度受講生10名、再利用率10割）。
・共生社会コンファレンス「まるのつどい」開催（120名）。HP https://ehimeuniv-cie.jp/syogai_gakusyu/ ・SNSで発信。